

## 令和5年度島根県「水と緑の森づくり」アンケート調査について（概要）

### 【趣旨】

島根県の水と緑の森づくり税のあり方や水と緑の森づくり事業について県民の森づくりに対する思いや、期待等を把握するためにアンケート調査を実施する。

### 【実施方法】

#### （1）調査項目

- ① 水と緑の森づくりについて
- ② その他

#### （2）調査対象

- ① 母集団 島根県内の市町村に居住する満18歳以上の男女
- ② 標本数 2,000人
- ③ 抽出法 選挙人名簿からの層化二段無作為抽出法

#### （3）調査方法

- ① 郵送法（郵送配布－郵送回収）またはしまね電子申請サービスによる
- ② 調査期間：令和5年11月8日～11月30日

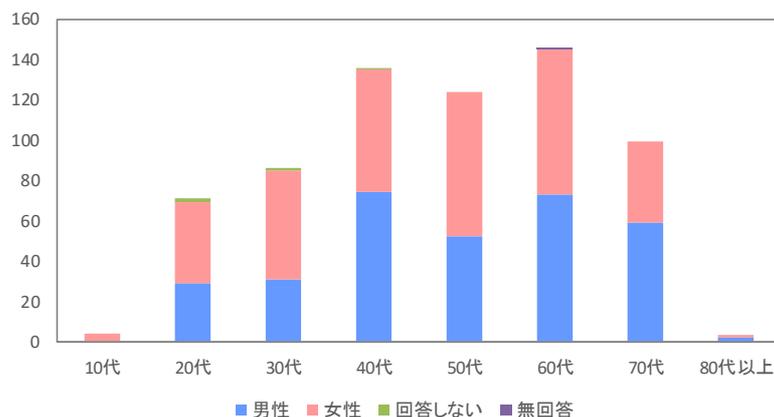
#### （4）実施

- ① 事業主体：島根県林業課
- ② 調査票発送：株式会社メディアスコープ
- ③ 集計・分析：株式会社エブリプラン

### 【調査結果】

- 有効回答数670 回答率33.5%
- 男性320、女性344、無回答6

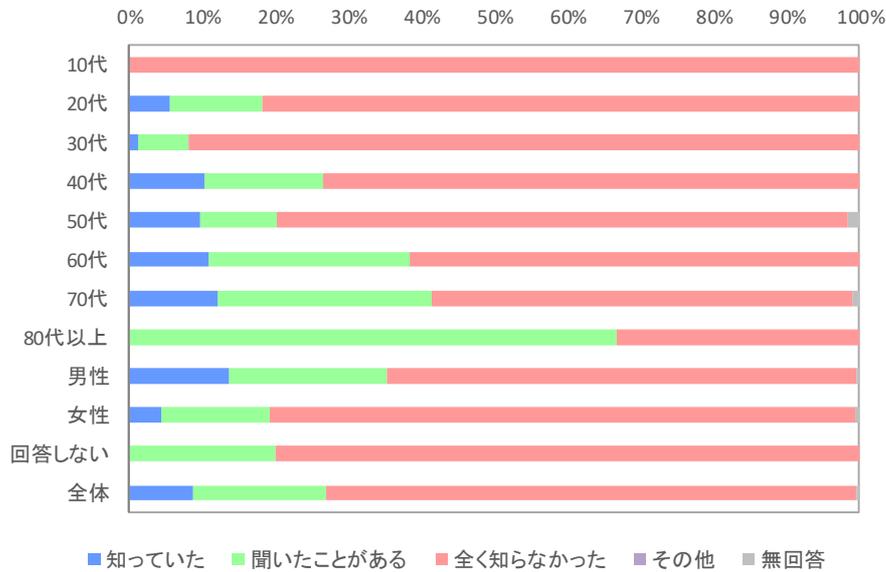
	男性	女性	回答しない	無回答	全体
10代	0	4	0	0	4
20代	29	40	2	0	71
30代	31	54	1	0	86
40代	74	61	1	0	136
50代	52	72	0	0	124
60代	73	72	0	1	146
70代	59	40	0	0	99
80代以上	2	1	0	0	3
全体	320	344	5	1	670



## 1. 水と緑の森づくり事業（税）の認知度について

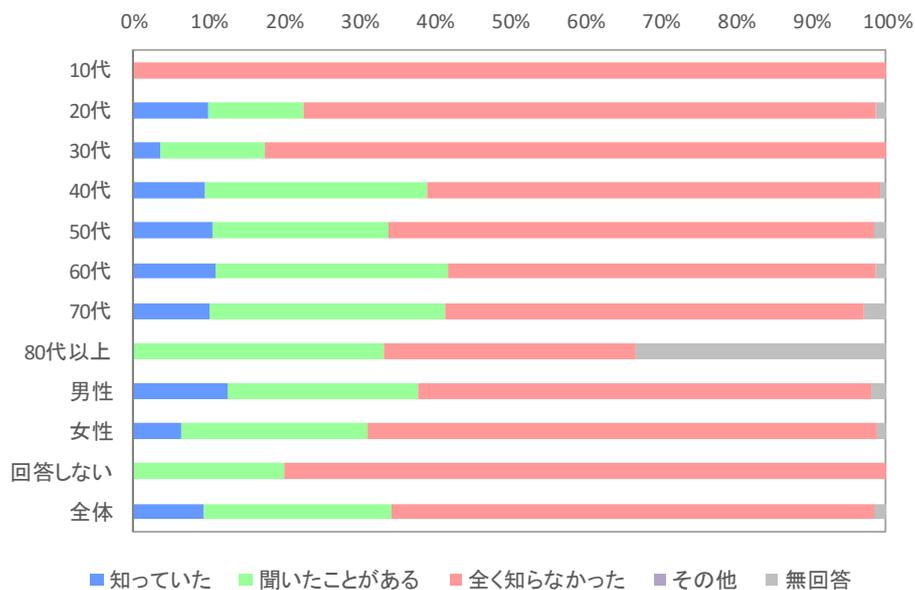
### 1) 税の認知度

「水と緑の森づくり税」の認知度については、「知っていた」9%、「聞いたことがある」18%、「全く知らなかった」73%であり、認知度は高いとはいえない。年齢階層別では、年代が高いほど認知度が高い。性別では、男性の認知度が高い。また、森林を所有しその状況を熟知している人ほど認知度が高い。



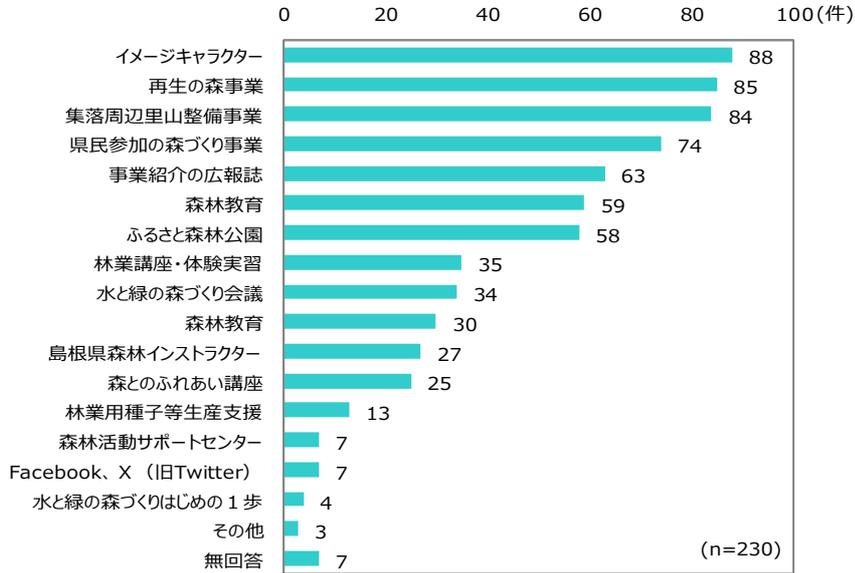
### 2) 事業の認知度

「水と緑の森づくり事業」の認知度については、「知っていた」9%、「聞いたことがある」25%、「全く知らなかった」64%である。税と同様に、年齢階層別では、年代が高いほど認知度が高く、性別では、男性の認知度が高く、山林所有・認識状況別では、その状況を熟知している人ほど認知度が高い。



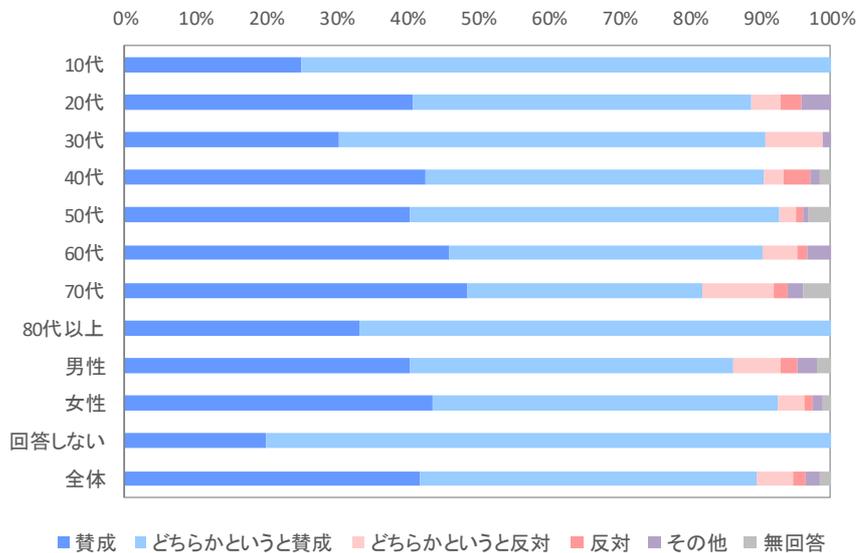
### 3) 事業別の認知度

最も知られているものは「イメージキャラクター」であった。このほか、「再生の森事業」「集落周辺里山整備事業」「県民参加の森づくり事業」「事業紹介の広報誌」「森林教育」「ふるさと森林公園」までは認知度が比較的高い。



### 2. 水と緑の森づくり税の徴収に対する賛否について

本税については90%の人が「賛成」(「賛成」「どちらかという賛成」の合計)と回答しており、税の趣旨や意義について理解が得られているといえる。年齢階層別では、すべての世代で80%を超えている。



### 3. 妥当と思う税額について

本税の税額は、年額 500 円である。妥当な額については、現在の「500 円」が 47% で最も多く、次いで「1,000 円」が 28% である。それ以上になると回答数は急激に減少する。

表. 妥当な額について

	300円	500円 (現在)	800円	1,000円	2,000円	5,000円	10,000円	それ以上	負担したくない(0円)	その他	無回答	全体	負担額平均(円)
10代	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	450
20代	8	38	3	10	1	1	0	0	6	4	0	71	609
30代	4	47	4	17	2	3	0	1	7	1	0	86	928
40代	4	71	1	39	7	4	1	0	5	3	1	136	913
50代	5	61	2	34	5	2	2	0	6	4	3	124	920
60代	4	58	11	54	7	2	0	0	7	2	1	146	818
70代	6	34	5	30	10	1	0	0	8	3	2	99	828
80代以上	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3	500
男性	15	127	10	108	15	6	1	1	26	8	3	320	871
女性	17	183	16	77	17	5	2	0	14	9	4	344	802
回答しない	0	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5	1400
全体	32	314	26	185	32	13	3	1	40	17	7	670	846

負担額平均…「それ以上」15,000円として計算、「その他」「無回答」は人数から除外

表. 妥当な額（負担額平均）の推移

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2022年	2023年
30代以下	798	784	829	721	778	853	968	969	824	779
40-50代	814	904	763	907	785	778	980	1143	1108	916
60代以上	852	813	816	885	900	869	941	826	932	818
男性	1008	903	850	908	931	923	981	948	1037	871
女性	687	785	754	795	735	770	905	919	892	802
回答しない	-	-	-	-	-	-	-	-	288	1400
全体	815	836	796	843	838	835	942	935	956	846

(単位: 円)

### 4. 税の使途として妥当と思うもの

妥当であるとの認識が高いものは順に、「荒廃林整備」が最も高く、「里山林竹林整備」「林業担い手育成」「森林組合取組支援」が続いた。

前回調査と比較すると、「里山林竹林整備」が 100 ポイント高くなっている。

